

国鉄改革完遂！ 当たり前の労働運動を 前進させよう！ JR 東海労に 結集しよう！	J R 東海労	静岡	J R 東海労働組合静岡地方本部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町 68 番地 TEL 054-284-3608 発行責任者：半場弘恭 2025 年 1 月 28 日 No.18
--	-----------------------------	-----------	---

JR 東海労地方本部 2025 年旗開き開催

労働者魂を持って組織拡大を目指す！

一部 OB の妨害を許さず

JR 東海労を支える OB 会と JS 労と共に闘う！



地本は、1 月 24 日静岡女性会館「あざれあ」において 2025 年旗開きを開催しました。年頭所感に立った半場委員長は、「昨年は、JR 総連からの脱退、リニア建設反対の闘い、袴田さんの完全無罪を勝ち取る闘いをやってきた。リニア建設は、地盤沈下や井戸の渇水などのため 18 カ所で工事が遅れている。会社は ICT 化の教育をはじめた。毎月の知悉度テストの成績の上位者を掲出するようになった。冤罪天竜林業高校事件の北川好伸さんを支える会に連帯していく。リニア建設に反対する人たちと連帯を強化する。一部の OB による妨害を許さず、JR 東海労を支える OB 会と共に労働者魂を持って闘い、組織拡大を目指していく」と決意を訴えました。

来賓には、淵上中央本部執行委員長他三役全員がみえられ、挨拶に立った淵上委員長は「JR 総連と OB 会一部役員は JR 東海労運動を否定するために色々やってきた。昨年 12 月 11 日に JR 東海労

臨時大会を開催した。JR 総連の、JR 東海労を 2029 年に解散させる方針にはついていけない。JR 総連からの組織攻撃により 22 名の脱退者が出た。JR 総連におめおめと除名されるのではなく、胸を張って脱退した。これからも職場で、地域で虐げられた人のために運動労働運動を進めいく」と JR 総連を脱退するに至った詳しい説明がありました。



また、静岡 9 条連共同代表であり、昨日の OB 総会で JR 東海労 OB 会長となった増田さんは、これまでの OB 会役員が如何に出鱈目な組織運営と引き回しをしてきたのかを詳しく説明され、JR 東海労静岡地本を支え親睦をはかる OB 会組織としていくと決意を述べられました。

また、講演をされた名古屋地本松山委員長からは、名古屋地本における OB 会一部役員からの組織破壊攻撃との闘いと、JR 総連からの呪縛が解き放された今、新たな闘いを進めていくと決意が述べられ、参加者全体で確認をしました。

続いて、山本書記長から 2025 年問題（75 歳以上の後期高齢者が国民の 4 分の 1 となることにより発生するさまざまな問題）、労働力不足、医療・介護の困窮化、という高齢化社会の現状、今年は戦後 80 年となる平和と人権・民主主義を守るために闘おうとこの一年の取り組みについて基調が提起され、闘う方向性を確認しました。

閉会のあいさつで、植松副委員長は JR 総連山口委員長の年頭所感に触れ、改めて参加者に JR 総連の問題点を考えるよう訴えました。



半場委員長の団結ガンバローで旗開きを終了し、OB 会員と共に新年会を開催しました。

名古屋地本松山委員長に激励と御礼

